

あわじ石の寝屋緑地の 整備・管理運営について

**令和7年10月29日
兵庫県まちづくり部公園緑地課**

-
- 空中展望台
- 雲望デッキ
- 見上げる展望台
- 海校展望台
- 石の段古墳群
- 森の広場
- いきものたんぽ
- 大正自動車
- 駐車場
- 大型駐車場
- 凡例
- 休憩施設 展望台など
 - 広場など
 - 駐車場
 - 水辺・池
 - 閉園区域
 - 公園区域
- 0 50 100 200m

A photograph showing a vast, lush green forest covering a steep hillside. The trees are dense and appear to be a mix of deciduous and coniferous species. At the base of the forest, on the right side, there is a small, light-colored building with a dark roof, possibly a guardhouse or a small cabin. The sky is clear and blue, with a few wispy clouds. The overall scene is a natural, wooded landscape.

A close-up photograph of a damselfly nymph. The nymph has a long, slender body with a bright yellow abdomen and a black thorax and head. It is perched on a large, green, serrated leaf. The background is a soft, out-of-focus greyish-green.

—

令和4年12月に開催されたCOP15での国際目標「30by30（陸域と海域の30%以上を保全）」に基づき、環境省が令和5年度に創設した生物多様性の保全が図られている地域の認定制度「自然共生サイト」に令和5年度に認定。県立都市公園としては尼崎の森中央緑地」に続き2例目。

■ 整備・管理運営にかかる計画

兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画（ひょうごパークマネジメントプラン）
（県立都市公園全体の整備・管理運営の基本方針、推進施策）

【あわじ石の寝屋緑地】 くつろぎの公園、環境との共生を学ぶ場

兵庫県立あわじ石の寝屋緑地リノベーション計画
（整備・管理運営の具体方策を計画的に推進していくためのアクションプラン）

リノベーションテーマ：豊かな森を活かした健康づくりやレクリエーション
キ ー ワ ー ド：豊かな森

参考 自然共生サイトの認定時のアピールポイント

- ・棚田跡地を活用したビオトープや古いため池は、水生生物の良好な生息環境。
- ・兵庫県版レッドリスト掲載植物等の生育環境にもなっており、希少種の保全に貢献。
- ・里地里山環境を活かし、周辺の小学生を対象とした環境学習では里山の自然と文化を体験できる場を提供。
- ・近隣の大学の研究対象地としても利用。



■ 推進施策

テーマ	施策方針（主な取組）
I 活力あふれる地域づくりに資する公園	①地域の活性化をもたらす公園づくり（観光拠点型公園の整備・活用、スポーツ拠点公園の整備・活用） ②地域文化の保全・継承、新たな芸術文化を創造する公園づくり（文化財等を保全・活用する公園の整備・活用、自然環境と芸術が織りなす新たな芸術文化を創造する公園づくり） ③元気で健康的な生活に資する公園づくり（健康づくり公園の整備・活用、くつろぎ公園の整備・活用） <div> 一庫公園、あわじ石の寝屋緑地、灘山緑地など ～癒しの空間の保全～ リフレッシュや癒しの場となる里山や緑地内の散策や休養、展望台など公園からの眺望空間の保全を図る。 </div>
II 子育てに資する公園	④子育て世代を支援する公園づくり（子育て支援公園の整備・活用） ⑤子どもを育む公園づくり（プレーパークなど子どもの成長に資する整備・活用、子どもの環境教育に資する整備・活用） ⑥3世代が楽しめる公園づくり（3世代など家族で共に過ごせる公園づくり、地域の高齢者と子どもが一緒に楽しめる公園づくり）
III 環境との共生に資する公園	⑦自然環境等を守り・生かす公園づくり（自然の樹林地等の緑を保全する公園づくり、生物多様性の確保に資する公園づくり、自然エネルギー等の活用の推進、園内発生材のリサイクルの推進） ⑧環境との共生を学ぶ場としての利活用（環境学習などに資する公園づくり） <div> あわじ石の寝屋緑地 ～環境学習、野鳥観察会の実施～ 再生整備した棚田における貴重種観察等の環境学習、展望台からサシバ等の野鳥観察会の開催などを実施する。 </div>
IV 安全安心な地域づくりに資する公園	⑨安全な暮らしを支える防災拠点としての利活用（防災拠点としての機能維持と利活用、流域対策に資する雨水の貯留浸透機能を担う施設整備の推進） ⑩安心地域づくりに役立つ公園づくり（防犯環境を考慮した設計の導入による安心な公園整備、公園の利用者、地域と連携した防犯対策） ⑪誰もが楽しく安心して利用できる公園づくり（公園のユニバーサル化の推進、巡視や安全点検の徹底、安全確保の改修等の推進）
V 持続可能なパークマネジメントの推進	<div> ⑫効率的な老朽化対策の計画的な推進 ⑭施設間連携、民間活力等の連携による効率的・効果的な事業推進 ⑮県民の参画と協働の活動を推進する仕組みの工夫 ⑯公園づくりの評価等の推進 </div> <div> ⑬社会変化を踏まえたリノベーション等の推進 ⑭より良いサービスを提供する管理運営体制等の工夫 ⑰効果的な広報の推進 </div>

(参考) 兵庫県立あわじ石の寝屋緑地リノベーション計画 (令和3年3月策定)



■ あわじ石の寝屋緑地の成り立ち

公園名		時 期															これから					
		戦後復興及び高度経済成長					都市拡大とバブル景気			阪神淡路大震災以降												
		S20	S30	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H8	H13		H18	H23		H28	R2	R3			
		緑の回廊計画					全県全土公園化構想			兵庫県「グリーンフェニックス計画」				兵庫県立都市公園の整備・管理運営の基本方針				兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画		あわじ石の寝屋緑地リノベーション計画		豊かな森
あわじ石の寝屋緑地	取組み概要																				自然環境の保全 (明石海峡大橋及び淡路縦貫道の開通に伴う開発抑制) 子供たちの自然環境学習の場の整備	自然環境の保全 環境学習 健康づくり
	整 備	H6:石の寝屋地区基本構想の策定 ○S62:明石海峡大橋の正面の自然の乱発防止ため用地取得																			H14:基本計画策定 H20:事業再評価、基本設計の見直し H27:開園	○森林・竹林の適切な管理 ○案内・誘導サイン等の整備 ○環境学習の取組拡大 ○社会情勢等の変化への対応 ・ポストコロナ社会に向けた公園の活用の推進 ・グリーンインフラとしての機能強化の推進 ・公民連携による新たな公園の魅力創出の推進 ・Society5.0の取り組みの推進 ・ユニバーサルデザインの推進
	管理・運営																				H21～22:あわじ石の寝屋緑地懇話会開催 H24:管理運営協議会設置(淡路島公園と合同)	○協議会のさらなる充実

(参考) 兵庫県立あわじ石の寝屋緑地リノベーション計画 (令和3年3月策定)



■リノベーションテーマ

○リノベーションテーマ：豊かな森を活かした健康づくりやレクリエーション
○キーワード：豊かな森

■リノベーション方針

キーワード*	施設名	利用状況	課題	対応（○ハード、■ソフト）
豊かな森	展望台周辺 （海峡展望台、見上げる展望台、空中展望台）、散策路	<ul style="list-style-type: none"> ●展望台からサシバ等の野鳥観察会の開催などを実施している。 ※小学校の環境学習を2回程度/年実施 ●ハイキングイベントや個人の散策で利用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●園路が整備されているため、気軽に里山の中の雰囲気を楽しむことができる一方で、手すりが未設置の急勾配箇所があり、転倒の危険性がある。 ●イノシシによって園路が掘り起こされる。 ●ソーシャルディスタンスを保ちながら過ごすことができる空間であるが、周知が進んでおらず、特に平日の利用はほとんどない。 ●海峡展望台は、明石海峡大橋を真正面から眺めることができる「映えスポット」であるが、周知が進んでいない。 	<p>機能の維持・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ○急勾配が連続する健脚コースに手すり等を設置 ○猪により掘り起こされた園路舗装の改修、雨水側溝整備 ■映えスポットの紹介等、「緑地の楽しみ方」を伝えるツールの検討・開発
その他	いきものたんぼ	<ul style="list-style-type: none"> ●いきものたんぼ（棚田）を活かした貴重種観察等の環境学習を開催している。 ※小学校の環境学習を年2回程度実施 ※生き物調査は年4回程度実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●小学生以外の対象者の拡大や新たなプログラムづくりなど、環境学習利用の促進が望まれる。 ●水がぬけてきており、湿生の動植物が生息できる環境が損なわれつつある。 ●マムシが多く、草刈りによる安全管理と畔の植生の保全の両立が求められる。 	<p>機能の維持・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ■プログラムの充実や環境整備など、淡路景観園芸学校やボランティア等と連携した取り組みの継続
	ため池跡、棚田跡	<ul style="list-style-type: none"> ●特に利用されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●セトウチサンショウウオやミズニラモドキといった貴重な動植物が確認されているが（令和2年度淡路景観園芸学校調査）、湿生林化が進んでいる。 	<p>機能の維持・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ■淡路景観園芸学校の協力・連携による新たな公園の利活用（公園をフィールドとした研究活動）を引き続き検討 ■淡路景観園芸学校の協力を得て、いきものたんぼ等湿性環境の保全管理や竹林を活かした活動等と、それらの取り組みが継続的に実施できるような仕組みづくりの検討
管理運営	管理運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ●年2回開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新たな取り組みを実現する人材、費用がなく、新たな提案が出にくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■淡路景観園芸学校の協力を得て、住民参画の活性化のための仕組みづくりを検討
	住民参画	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアが、あわじ石の寝屋緑地でも活動。いきものたんぼの調査、小学校の環境学習、ハイキングイベントを開催している。 ●R2年度から、淡路景観園芸学校による湿地保全の企画に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●メンバーの高齢化・固定化がみられる。 	